



移住者名	鈴木家族
都道府県	東京都
移住先	東京都福生市⇒東京都八丈島
移住年	2011年3月
職業	デザイナー⇒町役場職員
家族構成	夫婦2人と子ども1人（移住時）
移住形態	Iターン

Q. 移住したきっかけは？

東京で生まれ育ち、都市部の会社に勤めていました。

当時はデザイン関係の仕事をしており、通勤時間は満員電車で揺られて片道1時間半…。

心身ともにすり減らしながら生活していくことに疑問を持ち始め、観光で何度か訪れていた八丈島での移住を漠然と考え始めました。

同じ東京都でありながら圧倒的な自然の豊かさと、独特の文化が今も残る環境、なによりもあたたかい島の人たちに惹かれて、島で子育てをしたいと強く思うようになりました。

娘の誕生をきっかけに「ワークライフバランス」について夫婦で考えるようになり、大好きな八丈島で働き、子育てしたいというお互いの思いから移住を決めました。

実家のある都内から飛行機で約55分で行けるというアクセスが良い点、離島では珍しく総合病院が島内にあることも移住を決めたひとつの要因です。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

移住＝転職だったので新しい仕事に対する不安はありましたが、「八丈島に移住」に関してはほとんどありませんでした。

それは移住までに何度か島を訪れ、日常の生活を垣間見たり、島の方と接することで、なんとなく「ここでやっていけそう」と感じる事ができたからだと思います。

離島ゆえに、人と人との距離が近く、コミュニティに入れるか正直気になる点ではありましたが、地域のお祭や行事、イベントを「島の人」も、「移住者」も一緒に協力し合って取り組んでいる姿を見て、その不安も無くなりました。

八丈島は「遠すぎず、近すぎず」、「不便すぎず、便利すぎず」など、移住生活にとって「ちょうどいい」がたくさんあります。

また、昔から流刑地と多くの流人を受け入れ、共に生活してきた歴史からも、「外」からのヒト、モノ、コトに関して非常に寛容だと感じます。

Q. 移住して良かったことは？

やはり子育てにはとても良い環境だと思います。地域と一緒に子どもたちを育ててもらっている感じがとても心地よいです。ちょっと用事があるときには地域の方に子どもの面倒を見てもらったり、近所を散歩していると畑で取れた野菜や新鮮な魚をいただくこともあります。

また、八丈島は医療や教育の面でもとても恵まれているので、島で2人目を授かることができ、毎日賑やかに島暮らしを満喫しています。

派手さこそ無い島の生活ですが、不便さや困ることはほとんどなく、何物にも代えがたい海の青さや鮮やかな花と緑、満天の星空や夕焼けなど、季節の移り変わりを家族と一緒に体感できるのはとても贅沢なんだと思います。

甘えてばかりの家族ですが、本当にみなさんあたたかく見守ってくれていて、八丈島に移住してよかったとしみじみ感じます。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

島の生活は天気が大きく関わってきます。天気が悪くて飛行機や船が何日も欠航することもありますし、急な雨で洗濯物がビショビショになることもあります。

天気ばかりは仕方がないので、私はそれもまた島の生活だと思えるようにしています。

激しい雨の後に見える鮮やかでくっきりとした虹、台風前後の美しいグラデーシヨンの夕焼け、影が出るほど明るい月明かりなど、自然と共に人間らしく生活できること、その時間を大切な家族や島のヒトと共有できることが何よりも幸せだと感じます。

島での生活は楽しいです。

あまり無理をせず「まずは1年住んでみよう！」くらいの気持ちでいる方がいいかもしれませんよ！